

## まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名古屋外国語大学居場所づくり研究会
まちづくり活動名	nufs 居場所づくり研究会
活動地域	上社
活動の背景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>名古屋市でのまちづくりイベントに参加し、まちづくりを積極的に行っている方々の存在を知り、自分自身も学生の視点から何かできないかと思った。</p> <p>上社は大学に向かうスクールバスの発着駅であるが、駅に滞留する大学生はほとんどいない。</p> <p>また、大学生活も基本的に関わる人が限られているため必要最低限のみの関わりで終わってしまう。上社駅に、大学やアルバイト先や家とは別に寄り道でき、交流できる魅力的な居場所があれば、より充実した生活が送れるのではないかと感じている。</p> <p>上社に関わりを持つ人（通りかかる人、働く人、住む人）をつなげ、上社での魅力的な滞留時間をつくるために何ができるのかを考え「ここにいたくなるまち上社」の実現を目指す。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください）</p> <p>■目的 上社に関わりを持つ人（通りかかる人、働く人、住む人）をつなげる場を作り、それぞれの持つ思いを共有しながら、「ここにいたくなるまち上社」を一緒に考える。</p> <p>■目標 SNS上や対面上での意見交換、交流イベントを通じて、上社のまちづくりを考えるきっかけを生む。 日常を過ごすまちについての思いを語り合い、分かち合うことで、自分自身の気持ちに気づく場にする。</p> <p>■成果 意見交換の場を通じて、新たなコミュニティを形成し、上社のまちづくりに興味を抱く人口を増やす。</p>

活 動 内 容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SNSの意見交換・交流イベントを通じて、上社の魅力や現状を考える。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 上社をテーマにしたお題により、SNS投稿型で場所や時間を問わず気軽に参加できるイベントを企画する。</li> <li>② チラシを作成し、上社に関わりを持つ人（通りかかる人、働く人、住む人）に宣伝する。</li> <li>③ 上社に関わりを持つ人から、各回設定したお題に関する意見をまとめて発信する。</li> <li>④ 投稿者・読者・サイト管理者相互の返事や感想の中で上社の魅力、これからのまちづくりを考え、コミュニティを形成していく。</li> </ol> </li> <li>2. 対面での交流イベントを通じて、SNSの意見交換交流イベントに参加してくれた人のみならず、SNSのイベントには参加していなかった人々の視点も含めて、上社の魅力や現状を考える。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① アイスブレイクなどその場で初めて出会った人同士が対面で話しやすい環境をつくるゲームや時間を設ける。</li> <li>② 対面で上社をテーマにしたお題についてみんなで考えて、意見交換の場を作る。</li> <li>③ それぞれの話し合いの中で決められたお題の中身を深める。</li> </ol> </li> <li>3. 1,2を進めていく過程で、上社のまちづくりに興味を抱く人を増やしていく。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 毎回イベントに参加した感想や、実施方法に関する改善案を募集する。</li> <li>② 上社のまちづくりや当団体の活動、参加者自身の心の変化についてどんなことを思っているのか実態をまとめる。</li> </ol> </li> </ol>	
活 動 予 定 期	令和 5 年 6 月 ~ 令和 6 年 2 月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<b>審査基準① 必要性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・ 自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・ 活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・ 活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
----------------------	--

<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上社を通る学生にとって、上社駅は寄り道できるような入りやすいお店がなく、バスの発着の際の利用が中心となり、ただの通過地点となっている。</li> <li>・また、大学内は静かすぎたり、騒がしすぎたりしていて、落ち着いてのびのび過ごせる場がない。</li> <li>・まちに対して思いを抱いていても、どこにどのように伝えれば変わるのか、そもそもどのように伝えていけば良いのか分からないので、学生や一般市民に見える形を作る。</li> <li>・テーマを設定した SNS 上の企画を発信し、その中で（身近なまちについて思いを伝え合う）交流の場を生み出すことで、だれもが気軽に参加できるまちづくりができ、意見交換の場から生まれる交流、空間が、まちづくりの原動力になっていく可能性があるのではないか。</li> </ul>	
<p><b>審査基準②</b> <b>実現性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的にになっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動達成に向けてメンバー全員が常に全体を把握している状態を保ち、密に情報共有や話し合いの場を設けることができるよう、少数メンバーにて実施する。</li> <li>・上社に在住のメンバーがおり、地域とともに協力できる体制がある。</li> <li>・SNS での交流イベント実施から始めることで、日時、場所、場の空気を気にせず、気軽に始めることができる。</li> </ul>	
<p><b>審査基準③</b> <b>発展性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> </ul>
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを投げかけて気軽に参加できる環境を形成していく。</li> <li>・イベントに参加することにより、上社やまちづくり自体が身近なものになる。</li> <li>・上社近辺施設の方々（コンビニやカフェ、町内会など）にも投稿に参加してもらい、話し合いに加わってもらうことで、まきこみ型のまちづくりへと発展させたい。</li> </ul>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
名古屋外国語大学プレイスメイキング研究会（2023年4月～）	長久手市で子育て世帯交流プラットフォームネットワーク化事業を行っている。（簡易移動と設置可能な屋台をデザインし、街路に設置することで多様な住民の滞留効果とつながり形成に与える影響を検証）過去には屋外で映画上映会を実施。市が洞小学校区まちづくり協議会主催のイベントにも参加。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2023	4		
	5		
	6	イベント打ち合わせ① イベントの広告の作成配布①	イベントに向けたオンライン上での会議 開催する内容の宣伝資料作成・配布
	7	イベント実施①（SNS） 実施後の振り返り①	SNS上で実際にイベントを行う 実施後に改善点などの確認、今後どうしていくか話し合い
	8	イベント打ち合わせ② イベント広告作成②	過去回からどのようなことがあったか、時間をおいて振り返り、対面でのイベントに関して場所や方法、今後のイベントテーマに関して打ち合わせ イベントの広告作成
	9	広告の配布② イベント実施②（SNS） 実施後の振り返り②	8月に作成した広告の配布 過去回の声を反映させてイベントを実施 実施後の改善点などの確認、今後についての話し合い
	10	イベント打ち合わせ③ イベントの広告作成・配布③	8月の打ち合わせから決定した内容に必要な消耗品購入などの準備 対面イベント向け、対面イベント以降のイベント告知のチラシを作成 対面イベント用に作成したチラシを様々な場所へ配布
	11	イベント実施③（対面） 実施後の振り返り③	イベント実施（対面）/参加者に次回のイベント告知 実施後の感想を回収し、改善点やオンライン上との反応を比較、今後に生かす
	12	過去3回のイベントを振り返る イベント打ち合わせ④ イベントの広告作成・配布④	今までのイベントを通じて最後にどんなイベントをするのか話し合う 1月は何を行うのか、形式や内容を確定 次回イベントの広告作成、配布
	2024	1	イベントの実施④（形式未定） 実施後の振り返り④
2		6月からの活動を振り返り報告書を作成・提出	今年度の活動を振り返りメンバー間でどうだったか感想を共有、報告書の資料を作成、提出
3		報告会に向けた準備及び、今後の活動についての話し合い	4月に行われる報告会の準備及び来年度の活動についての話し合い

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
<b>まちづくり活動助成金（申請金額）</b> ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000 円	
活動経費の内訳	印刷費	活動の募集チラシ作成	2500部作成（ラクスルより）8,435円×4回 (B5)	33,740 円	
	賃借費	対面でのイベント実施及び打ち合わせ	(猪高コミュニティセンター) 半日 2000円×4回	8,000 円	
	消耗品費		対面イベントのお茶菓子代	(参加者に提供用) 飲み物 (1.5L) 200×5本	1,000 円
				(参加者に提供用) 紙コップセット 110円×2	220 円
				お菓子大袋 300円×4	1200 円
				イベントで使用する筆記具 マッキーセット 850円×2	2,550 円
				イベントで使用する紙 色画用紙 110円×4	440 円
				付箋 (75mm×75mm) 770円×3	2,310 円
				模造紙 (20枚入り) ×1	948 円
	<b>支出合計</b>				<b>50,408 円</b>

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。